

2001 年 IEEE Kansai Section

総会資料

2001 年 2 月 19 日

IEEE Kansai Section

2001年IEEE Kansai Section 総会

1. 日時： 2001年2月19日(月)午後3時00分～5時00分
2. 場所： 住友ビル 11階 住友電工112号会議室
541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33
3. 総会スケジュール
 1. 役員紹介
 2. 支部長挨拶
 3. 2000年活動報告および会計報告
 4. 2001年事業計画および予算案承認
 5. Kansai Section Gold Award 授賞式
 6. Kansai Section Fellow 証書伝達式
<休憩>
 7. Kansai Section Fellow 紹介及びスピーチ
 8. 閉会の挨拶

Kansai Section GOLD Award 受賞者

(敬称略)

三浦 浩一 (大阪大学)

Kansai Section 新 Fellow 氏名

(アルファベット順、敬称略)

冷水 佐壽	(大阪大学)
上林 彌彦	(京都大学)
片桐 滋	(日本電信電話株式会社)
森永 規彦	(大阪大学)
中津 良平	(国際電気通信基礎技術研究所)
塩沢 俊之	(大阪大学)
田中 初一	(神戸大学)
鷲塚 諫	(シャープ株式会社)
矢島 脩三	(関西大学)

I. 2000 年活動報告

1 . 総会

2000 年 2 月 16 日 (水) に住友ビル 11 階住友電工 112 号会議室において、2000 年総会を実施した。

2 . 役員会

第 1 回役員会 1 月 24 日 住友ビル 出席者：8 名

- ・ 1999 年事業報告
- ・ 今後の支部活動の事業計画
- ・ 今後の Committee の活動

第 2 回役員会 2 月 16 日 住友ビル 出席者：8 名

- ・ 総会について

第 3 回役員会 4 月 20 日 住友ビル 出席者：7 名

- ・ 第 1 回 Japan Council 理事会報告
- ・ 今後の Committee 活動
- ・ 関西支部内 Chapter 設立について

第 4 回役員会 6 月 7 日 住友ビル 出席者：7 名

- ・ 次期役員選出方法について
- ・ 関西支部 Chapter 設立について
- ・ 会計中間報告

第 5 回役員会 9 月 6 日 住友ビル 出席者：8 名

- ・ 次期役員候補選出
- ・ Japan Council 理事会との懇談会について
- ・ 今後の Committee 活動
- ・ IEEE 関西支部 Newsletter 発行について

第 6 回役員会 10 月 24 日 住友ビル 出席者：7 名

- ・ Region 10 Meeting 報告
- ・ 役員、理事選出規定について
- ・ Newsletter 発行報告

第 7 回役員会 12 月 26 日 住友ビル 出席者：8 名

- ・ 次期 Officer 紹介
- ・ 関西支部 Chapter 設立
- ・ Fellow 推薦
- ・ 関西支部 GOLD 賞について

3 . 支部主催講演会

Technical Program Committee の企画により、支部主催講演会を計 6 回実施した。

- 支部主催第 2 回技術講演会

日時：2000 年 1 月 14 日(金) 13:00 ~ 14:30

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 大会議室

題目：From bits to information: machine learning theory and applications'

講演者：Prof. Tomaso Poggio (MIT AI Laboratory)

- 支部主催第 3 回技術講演会

日時：2000 年 3 月 3 日(金) 13:30 ~ 15:00

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 大会議室

題目：Natural Communication with Machines

講演者：Prof. James L. Flanagan (Rutgers 大学副学長)

- 支部主催第 4 回技術講演会

日時：2000 年 3 月 24 日(金) 14:00 ~ 15:30

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 大会議室

題目：The Economics of Electronic Commerce

講演者：Prof. Andrew B. Whinston (University of Texas, Austion)

- 支部主催第 5 回技術講演会

日時：2000 年 7 月 7 日(金) 13:30 ~ 15:00

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 大会議室

題目：Fault-Tolerant Group Communication Services: An Overview and an Approach

講演者：Prof. Nancy Lynch (MIT)

- 支部主催第 6 回技術講演会

日時：2000 年 8 月 11 日(金) 13:30 ~ 15:00

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 大会議室

題目：The C/D Model: A Syllable-Based Representation of Conversational Speech

講演者：Prof. Osamu Fujimura (The Ohio State University)

- 支部主催第 7 回技術講演会

日時：2000 年 8 月 28 日 (月) 13:30 15:30

場所：ATR 地下大会議室

題目：Intentional Dynamics: Ecological Foundations of Intentional Systems

講演者：Prof. Robert E. Shaw (University of Connecticut)

4 . Region 10 Meeting

マレーシアのランカウイ島において 2000 年 9 月 29 日と 30 日の 2 日間、IEEE Region 10 Meeting が開催された。関西支部からは、池田 Vice Chair、山本 Secretary/Treasurer、白川理事、羽根田理事の 4 名が出席した。支部運営に関する Tutorial など Training Session が中心であった。本 Region 10 Meeting において、羽根田理事が 2001 年から Region 10 Membership Development Committee Chair に就任することが決まった。

5 . Japan Council 理事会との懇談会

2000 年 10 月 27 日(金)15:15 から 16:00 まで、NEC 関西ビルにおいて Japan Council 理事会と関西支部役員・理事との懇談会が開催され、支部における Chapter 設立などについて意見交換を行った。

6 . 関西支部内新 Chapter の設立

前項の Japan Council 理事会と関西支部役員との懇談会における意見交換を受けて、Japan Council Chapter Operations Committee において 2000 年 12 月 9 日付けで支部内の Chapter 設立に関する考え方が示された(詳細は以下のホームページに掲載：

<http://homepage1.nifty.com/ieeetokyo/chapter/setsuritsu.htm>)。この中の、当面「東京 Section 以外の Section で設立可能な Society から Chapter を設立する。」という方針に従い、関西支部でも設立条件の整った Chapter については設立を承認する方向となった。

2000 年に以下の 2 つの Chapter 設立要請が関西支部へ提出され、支部役員会において承認された。

EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

設立発起人：野澤 博 (京都大学)

2001 年 1 月 5 日 IEEE 本部より設立承認。

SSCS(Solid-State Circuits Society) Kansai Chapter

設立発起人：小野寺秀俊 (京都大学)

2001 年 1 月 22 日 IEEE 本部より設立承認。

7 . 各 Committee 活動

a. Membership Development Committee

2000 年 4 月 28 日および 2000 年 12 月 18 日に MDC meeting を開催し、以下の方針に添って取り組んだ。

(1) 会員数の増強

会員のメリットを宣伝することによって IEEE への勧誘活動を進める。特定の Society のみに加入している Affiliate 等に対して正会員となるように促す。

(2) Senior Member への upgrade の推進

該当する候補者に対して関西支部からの推薦により upgrade の申請を積極的に促すとともに、必要な支援活動を行う。

これらの活動方針に基づき、関西支部発足後、会員数で約 250 名の増加が達成された。

b. Nominations Committee

MDC と共同で Senior Member の拡大をはじめ、それに付随する活動を行った。Fellow Nomination に関して、Nomination Committee の担当と決まったので、2000 年も具体的手続きを実施した。

関西支部内の現 Fellow に対し、新 Fellow の推薦を依頼し、IEEE 関西支部から推薦者を決定した。2000 年は、関西支部からの Fellow 昇格者は 9 名であり、そのうち 6 名は、関西支部からの推薦であった。

c. Student Activities Committee

Student Branch は、現在大阪大学のみであるが、京都大学について、IEEE 本部に昨年申請を完了し、現在承認待ちの状況である。立命館大学も、branch 設立の要件が整い、申請書の提出にむけて準備中である。他の大学についても、学生会員の勧誘につとめている。

d. Technical Program Committee

関西支部 2000 年総会において Technical Program Committee の設置および構成が決定された。これに伴い、講演会開催を主たる活動とする Technical Program Committee の活動を開始した。2000 年は、前述の技術講演会を計 6 回開催した。

いずれの講演会も 50 人~100 人の参加者があり、質疑応答も活発に行われるなど盛況であった。

e. Awards Committee

関西支部独自の Award の企画をねらいとして、2000 年に Awards Committee を新設し、「IEEE Kansai Section GOLD Award」を設立した。関西支部の学生員、若手研究員で、支部の活動に直接または間接に貢献した者を対象にした Award であり、設立に向けて IEEE 本部による許可の取得、

募集・選定・決定細則の決定、ニュースレターおよび関西支部インターネットを通じての公募、ならびに当委員会による選定を行った。これらに基づいて、GOLD Award の受賞を支部役員会で決定した。

II. IEEE Kansai Section 2000 年会計報告

1. 収入の部 (単位：円)

IEEE Entity 間勘定	4,051,726	
・ Section Rebate(IEEE 本部より)	802,058	・ 5/26 に入金
・ Section Assessment(同上)	3,249,668	・ 2,259,063 円(第 1 回入金 2/28)
		・ 991,550 円(第 2 回入金 10/3)
利子	394	・ 普通預金利息
繰越金	740,732	
合計	4,792,852	

2. 支出の部 (単位：円)

IEEE Entity 間勘定	3,248,723	
・ Japan Council への拠出金	3,248,723	Section Assessment より振込み手数料(945)を差し引いて送付
会合費	735,598	
・ 総会費	34,599	会場費、資料代など 謝金
・ 講演会	150,000	
・ 役員会費	327,671	
・ Committee 会合費	223,328	
事務経費	170,337	
・ 通信費	13,590	
・ 事務用品費	3,527	
・ 旅費	153,220	
雑費	4,515	換金手数料など
合計	4,159,173	

III 関西支部会員数

1. グレード別会員数

2000.12.31 現在

グレード	Grade Code	会員数
Honorary Member	HM	0
Life Fellow	LF	15
Fellow	F	34
Life Senior Member	LS	10
Senior Member	SM	90
Life Member	LM	24
Member	M	1107
Pending Member	PM	35
Life Associate	LA	1
Associate	A	131
Student	S	168
Total		1615

2. ソサイエティ別会員数

2000.12.31 現在

ソサイエティ	Code	会員数
Signal Processing	SP-01	138
Broadcast Technology	BT-02	17
Antennas and Propagation	AP-03	75
Circuits and Systems	CAS-04	165
Nuclear and Plasma Science	NPS-05	16
Vehicular Technology	VT-06	39
Reliability	R-07	18
Consumer Electronics	CE-08	42
Instrumentation and Measurement	IM-09	29
Aerospace and Electronic Systems	AES-10	20
Information Technology	IT-12	62
Industrial Electronics	IE-13	52
Engineering Management	EM-14	18
Electron Devices	ED-15	185
Computer	C-16	626
Microwave Theory and Techniques	MTT-17	138
Engineering in Medicine and Biology	EMB-18	57
Communications	COM-19	253
Ultrasonics, Ferroelectronics and Frequency Control	UFFC-20	28
Components, Packaging and Manufacturing Technology	CPMT-21	36

Oceanic Engineering	OE-22	13
Control Systems	CS-23	118
Robotics and Automation	RA-24	79
Education	E-25	22
Electromagnetic Compatibility	EMC-27	30
System, Man and Cybernetics	SMC-28	102
Geoscience and Remote Sensing	GRS-29	16
Social Implications of Technology	SIT-30	4
Power Engineering	PE-31	77
Dielectrics and Electrical Insulation	DEI-32	22
Magnetics	MAG-33	45
Industry Applications	IA-34	46
Power Electronics	PEL-35	44
Lasers and Electro-Optics	LEO-36	118
Solid-State Circuits	SSC-37	138

IV. 2001/2002 年 IEEE Kansai Section 役員

1. Section Officers

Chair:	長尾 真 (京都大学)
Vice Chair:	石井 健一郎 (日本電信電話)
Secretary/Treasurer:	大山 芳史 (日本電信電話)

2. 理事

小山 正樹 (奈良先端科学技術大学院大学)
白川 功 (大阪大学)
中村 行宏 (京都大学)
中津 良平 (ATR 知能映像通信研究所)
羽根田博正 (神戸大学)
中原 恒雄 (住友電気工業)
池田 博昌 (東京情報大学)
山本 幹 (大阪大学)

3. Committee Officers

a. Membership Development Committee :

Chair: 小山 正樹 (奈良先端科学技術大学院大学)
Secretary: 前田 英作 (日本電信電話)
Member: 勝川 保 (住友電気工業)
神戸 尚志 (シャープ)
瀬恒 謙太郎 (松下電器産業)
武田 捷一 (三菱電機)
武田 洋次 (大阪府立大学)
田中 初一 (神戸大学)
中村 進 (オムロン)
橋本 正弘 (大阪電気通信大学)
長谷川 泰三 (関西電力)
東田 正信 (国際電気通信基礎技術研究所)
藤原 値賀人 (大阪市立大学)
山本 裕 (京都大学)

b. Nominations Committee :

Chair: 白川 功 (大阪大学)
Member: 大西 良一 (三菱電機)
奥村 浩士 (京都大学)
河田 亨 (シャープ)
櫛木 好明 (松下電器産業)
菅原 良孝 (関西電力)
羽根田博正 (神戸大学)
吉田 健一 (住友電気工業)

c. Student Activities Committee :

Chair: 中村 行宏 (京都大学)
Member: 小野寺秀俊 (京都大学)
瀧 和男 (神戸大学)
松本 健一 (奈良先端科学技術大学院大学)
村田 正幸 (大阪大学)
柳田 益造 (同志社大学)

山内 寛紀 (立命館大学)

d. Technical Program Committee :

Chair: 中津 良平 (ATR 知能映像通信研究所)
Vice Chair: 北村 喜文 (大阪大学)
Secretary: 間瀬 健二 (ATR 知能映像通信研究所)

e. Awards Committee :

Chair: 羽根田博正 (神戸大学)
Member: 井上 克巳 (神戸大学)
黒江 康明 (京都工芸繊維大学)
松山 隆司 (京都大学)
宮原 秀夫 (大阪大学)
山崎 宏之 (三菱電機)
吉田 健一 (住友電気工業)

V . 2001 年 Kansai Chapter Officers

EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter :

Chair: 野澤 博 (京都大学)
Vice Chair : 数村 勝 (松下電子工業)
Secretary: 山本 靖 (京都大学)
Treasurer: 大槻 達男 (松下電子工業)

SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter: : (*)

*:Officers が、決定次第、関西支部ホームページにて、掲載の予定

VI. 2001 年 IEEE Kansai Section 事業計画

1. 総会

2001 年 2 月 19 日 (月) 15:00 ~ 17:00 の予定で、2001 年定例総会を実施する。

2. 支部主催講演会

Technical Program Committee の企画により、講演会を実施する。現在以下の 2 つの講演会の実施が決定している。

・ 関西支部主催第 8 回技術講演会

日時：2001 年 2 月 9 日 (金) 14:00 15:30

場所：ATR 地下大会議室

題目：Developing and Evaluating Conversational Agents

講演者：Prof. Dominic W. Massaro

(Perceptual Science Laboratory, University of California, Santa Cruz)

・ 関西支部主催第 9 回技術講演会

日時：2001 年 3 月 8 日 (木) 15:00 17:00

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 大会議室

題目：Social Interactions with Information Technology

講演者：Dr. Byron Reeves

(Professor, Department of Communication Director;

Center for the Study of Language & Information at Stanford University)

3. 役員会

第 1 回役員会 1 月 19 日 デジタルアーカイブ研究センター

・ 2001 年総会 ・ 2001 年事業計画 ・ 2001 年各 Committee の事業計画

第 2 回役員会 2 月 19 日 住友ビル

・ 2001 年総会について

2001 年中に、さらに数回の役員会を開催する予定である。

4. 関西支部 Gold Award

2000 年に引き続き、Award 受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。

5. 各 Committee 活動

a. Membership Development Committee

2000 年の活動方針を継続し、以下の取り組みを実施する。

- (1) 会員数の増強
各組織毎に数値目標を設定し、SAC とも協力して新規会員の勧誘に努めるとともに、それに向けた施策を展開する。
 - (2) Senior Member への upgrade 推進
upgrade 候補者に対して個別に申請を促すとともに、そのサポート体制の充実等を図る。
 - b. Nominations Committee
 - (1) 各種 Nomination 活動
昨年度と同様に、定常的な Nomination の活動を行なう。
 - (2) Fellow Nomination
2000 年と同一手順で実行の予定。
 - (3) 2000 年と同様に、Membership Development Committee と共同して Senior Member の拡大を図り、さらに Fellow 候補者をできるだけ多く推薦する。
 - c. Student Activities Committee
 - (1) Student Branch の設立
昨年に引き続き、学生会員の勧誘を進め、Student Branch の設立に向け努力を継続する。Student Branch は、既設大阪大学に加え、IEEE 本部に申請済の京都大学、Branch 設立の要件が整った立命館大学、および奈良先端科学技術大学院大学を含め 4 大学の体制を目指す。
 - (2) 学生を対象としたイベント企画
学生を対象とした講演会、見学会、IEEE 活動説明会を兼ねたイベントを企画し、学生会員の一層の増加を図る
 - d. Technical Program Committee
2000 年と同様に講演会の開催を主な活動とする。これまで開催場所が、けいはんな地区 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所もしくは ATR) であったため、今後、大阪・京都などでの開催も視野にいれて、積極的に企画する。
 - e. Awards Committee
2000 年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定の作業を継続して若手会員の増強を図る。その他、中長期的な視点で新企画の検討を行う。
6. ホームページの URL の変更
2001 年 2 月より関西支部のホームページの URL を下記のとおり変更した。
<http://www.kecl.ntt.co.jp/ieee-kansai/>
引き続き、IEEE 関西支部の活動内容、各種行事などの情報を提供する。

VII. 2001 年 IEEE Kansai Section 予算

収入の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	3,947,224	
・ Section Rebate (IEEE 本部より)	697,950	・ (補足)の計算式で現状の会員数 1615、110 円/\$で計算 ・ 2000 年実績で計算
・ Section Assessment (同上)	3,240,000	
・ MDC Grant	9,274	
繰越金	633,679	・ 1/4 入金
合計	4,580,903	

(補足)

Rebate 内訳 $\$1,500 + \$3 \times (\text{会員数})$

- ・ \$1,500 は各 section 一律配分
- ・ 会員数のカウントには全 grade の会員が相当

支出の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	3,240,000	Japan Council 拠出金
会合・AWARD 費	630,000	
・ 総会費	50,000	会場費、資料代など 会場費、謝金など
・ 講演会	150,000	
・ 役員会費	150,000	
・ Committee 会合費	250,000	
・ Award 費	30,000	
事務経費	76,000	
・ 通信費	10,000	
・ 事務用品費	6,000	
・ 旅費	60,000	
雑費	634,903	円ドル換金レート変動吸収分を含む
合計	4,580,903	

VIII. 関西支部 Bylaws

IEEE KANSAI SECTION BYLAWS

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, Policy and Procedures manual, and the Regional Activities Board (RAB) Bylaws and Operations Manual will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

ARTICLE I --- Name and Territory

Section 1

This organization shall be known as the Kansai Section of the IEEE.

Section 2

The territory of the Kansai Section, as approved by RAB, includes the following:

Osaka, Kyoto, Hyogo, Nara, Shiga, and Wakayama prefectures, JAPAN

(The districts with the postal codes starting with 52 through 67 inclusive.)

ARTICLE II --- Officers

Section 1

The elected officers of the Kansai Section shall be the 4 Executive officers: Chair, Vice Chair, Secretary & Treasurer. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.

Section 2

The terms of office of the elected officers shall be for 2 years.

Section 3

Terms of office will begin on January 1 but, in any case, the outgoing officers will continue until their successors are duly elected and take office. The consecutive period of service shall not exceed two years.

Section 4

Any vacancy occurring during the year shall be filled by a majority vote of the Section Executive Committee.

ARTICLE III --- Standing Committee

Section 1

The Standing Committees of the Section will be as follows:

- Membership Development Committee
- Nominations Committee
- Student Activities Committee
- Technical Program Committee

- Awards Committee

Section 2

The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Section Chair.

Section 3

Each Committee Chair will appoint his/her Committee members, with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Committee end-of-term date of the Committee Chairs'.

Section 4

Duties of the Standing Committees will be as generally described in the IEEE Section Operations Guide.

ARTICLE IV --- Management

Section 1

The management of the Section shall be by the Section Executive Committee which shall consist of the elected officers, the Past Section Chair and the following:

- Standing Committee Chairs
- representatives of Chapters,
- such other members appointed by the Section Executive Committee,
- and such other members appointed by the Section Chairman.

The number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.

Section 2

A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.

Section 3

A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of its business.

Section 4

Meetings of the Section Executive Committee ordinarily will be held at least twice a year and will be called by the Section Chair or by a request of an three members of the Section Executive Committee.

Section 5

The fiscal year of the Section shall be the calendar year.

ARTICLE V --- Nomination and Election of Officers

Section 1

A nominating Committee consisting of three members, not then officers of the Section, shall be

appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.

Section 2

The nominations of the Nominating Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of 28 days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by 2% or more voting membership.

Section 3

If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot, mailed to the membership with the vote counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.

Section 4

The timetable for this procedure is as follows:

Appointment of Nominating Committee:	by August 31
Announcement of Nominations:	by September 30
Close nominations by petition:	by October 31
Hold election:	by November 30

Section 5

A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

ARTICLE VI --- Business Meeting

Section 1

In order to transact business at a Section meeting, at least 3 members must be present to constitute a quorum.

ARTICLE VII --- Finances

Section 1

All expenditures of Section funds must be approved by Section Treasurer or Chair.

Section 2

Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can be used only for normal operations of the Section.

Section 3

The treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.

ARTICLE VIII --- Amendments

Section 1

Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by 20% or more voting members.

Section 2

Amendments to or revocation of these Bylaws shall be in accordance with the IEEE Bylaws, RAB Bylaws and RAB Operations Manual.